

12月14日 待降節第3主日

世の光

ヨハネによる福音書 1章 6～8、19～28節

⁶神から遣わされた一人の人がいた。その名はヨハネである。⁷彼は証しをするために来た。光について証しをするため、また、すべての人が彼によって信じるようになるためである。⁸彼は光ではなく、光について証しをするために来た。

¹⁹さて、ヨハネの証しはこうである。エルサレムのユダヤ人たちが、祭司やレビ人たちをヨハネのもとへ遣わして、「あなたは、どなたですか」と質問させたとき、²⁰彼は公言して隠さず、「わたしはメシアではない」と言い表した。²¹彼らがまた、「では何ですか。あなたはエリヤですか」と尋ねると、ヨハネは、「違う」と言った。更に、「あなたは、あの預言者なのですか」と尋ねると、「そうではない」と答えた。²²そこで、彼らは言った。「それではいったい、だれなのです。わたしたちを遣わした人々に返事をしなければなりません。あなたは自分を何だと言うのですか。」²³ヨハネは、預言者イザヤの言葉を用いて言った。

「わたしは荒野で叫ぶ声である。

『主の道をまっすぐにせよ』と。」

²⁴遣わされた人たちはファリサイ派に属していた。²⁵彼らがヨハネに尋ねて、「あなたはメシアでも、エリヤでも、またあの預言者でもないのに、なぜ、洗礼を授けるのですか」と言うと、²⁶ヨハネは答えた。「わたしは水で洗礼を授けるが、あなたがたの中には、あなたがたの知らない方がおられる。²⁷その人はわたしの後から来られる方で、わたしはその履物のひもを解く資格もない。」²⁸これは、ヨハネが洗礼を授けていたヨルダン川の向こう側、ベタニアでの出来事であった。

他の朗読：イザヤ 61:1, 2, 10, 11 ルカ 1:46～50, 53, 54 | テサロニケ 5:16～24

Lectio …読む

今週私たちはヨハネによる福音書の最初の部分を深めたいと思います。洗礼者ヨハネを紹介する6～8節は、序文とも言える1～18節に挿入された短い注です。これは「言（ロゴス）」であるイエスについての賛歌です。

洗礼者ヨハネは「すべての人が彼によって信じるようになるため」、「光について証しをするため」に遣わされた神からの使者として描かれています。福音記者は、洗礼者ヨハネは「光ではない」ことを明確にしています。イエスこそが「光」なのです。

19～28節において、私たちはヨハネとユダヤ教の権威であったファリサイ派から送られてきた人々との出会いについて聞きます。ヨハネは預言者か、エリヤ、またはメシアその人ではないか、という噂が流れていたようです。そのためファリサイ派の人々は、ヨハネが何者か、何故人々に洗礼を授けるのかを知ろうとして何人かの祭司とレビ人を送ったのです。

ヨハネは、自分はそのうちのどれでもないと明言しました。彼はイザヤ40章3節の預言を引用して、自分の役割は主の道を整えることだ、と説明したのです。ヨハネは実際に荒野で説教をしていました。だから、彼はイザヤが描いた「荒野で叫ぶ声」そのものであったのです。

ヨハネは自分がメシアでないことを明確にする一方で、26、27節でとても興味深い言葉を述べています。「あなたがたの中には、あなたがたの知らない方がおられる。その人はわたしの後から来られる方で、わたしはその履物のひもを解く資格もない」と。この時点においてはそれ以上何も描かれず、記者は物語を進めます。ファリサイ派から送られた人々が戻って何を報告したのか、私たちには

明らかにされません。

Meditatio …黙想する

イエスは「光」と記されています。私たちの、騒がしく忙し過ぎる世界において、どのようにイエスは今日の人々の「光」となり得るのか、考えてみましょう。

洗礼者ヨハネはイエスについて「語る」ために神から遣わされました。ギリシア語で「語る」という言葉には「見たことを証言する」という意味があります。つまり、ヨハネは証言者だったのです。私たちの現代社会において、「証し」はどれだけ必要でしょうか。あなたはイエスを証しするために何を話し、また行うことができるでしょうか。

Oratio …祈る

マリアの賛歌は、この朗読箇所（ルカ1章46～55節）の中心に響き渡ります。マリアの賛歌をあなた自身の喜びの祈りとして、各節の言葉に留まり、感謝を捧げてみましょう。

Contemplatio …観想する

「あなたがたの中には、あなたがたの知らない方がおられる。」数分の間、この言葉に留まって思い巡らせてみましょう。このことについて明かしてくれるよう、神に祈ってみましょう。あなたが特定の人やあなた自身のために祈るように、そしてイエスをより深く知るように促されているのを感じないでしょうか。

イザヤ61章1、2節からとられた今日の朗読で、私たちは「メシアは神の霊に満たされて、良い知らせと解放をもたらす」というすばらしい宣言を聞きます。あなたにとってメシアはどのような人ですか。

1テサロニケ5章16～24節で、パウロは私たちに良い弟子であるにはどうすればよいかを教えてください。彼の勧めに従うことは、イエスのより良い証し人になることを助けるでしょう。